PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference HM-F375PCT	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2004/017740	International filing date (day/month/year) 29 November 2004 (29.11.2004)	Priority date (day/month/year) 27 November 2003 (27.11.2003)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant HITACHI METALS, LTD.				

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).						
2.	This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.						
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3.	. This report contains indications relating to the following items:						
	Box No. I Basis of the report						
	Box No. II	Priority					
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability					
	Box No. IV	Lack of unity of invention					
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
	Box No. VI	Certain documents cited					
	Box No. VII	Certain defects in the international application					
	Box No. VIII Certain observations on the international application						
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
			Date of issuance of this report 29 May 2006 (29.05.2006)				
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland		mbettes	Authorized officer Yoshiko Kuwahara				
Facsimile No. +41 22 740 14 35			Telephone No. +41 22 338 90 90				

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

出願人代理人 高石 橋馬				REC'D	3 1·	MAR	200
numy .				WIPO			
あて名	様						
〒 162-0825 東京都新宿区神楽坂6丁目67 神楽坂FNビル5階		PCT 国際調査機関の見解む (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]					
		. 発送日 (日. 月. 年) 20 3 2005) E		
出願人又は代理人 の背類記号 HM-F375PCT	(日.月.年) 29.3.2005 今後の手続きについては、下記2を参照する				٤.		
	優先日 (日.月.年) 27.11.2003						
国際特許分類(IPC)	- "						
Int. C1' H01Q7/08, G04G1/00							
出願人(氏名又は名称) 日立金属株式会社			,				
※ 第1個 見解の基礎 第Ⅲ個 優先権 第Ⅲ個 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第Ⅳ個 希明の単一性の欠如 ※ 第Ⅴ個 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 ある種の引用文献 第Ⅷ個 国際出願の不備 第Ⅷ個 国際出願の不備 第Ⅷ個 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書をみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。						O国 i さ	
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照							
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を	参照す	ること。					
見解書を作成した日 ・11.03.2005							
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		〒審査官(権限の) 吉村 伊佐雄 番号 03-35:		5	T 4	123	5

電話番号 03-3581-1101 内線 3526

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第1栅 見解の基礎							
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。							
この見解むは、 話による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の質語である。							
	2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。						
а. タイプ	配列發						
	■ 配列表に関連するテーブル						
b. フォーマット	□ ・						
	コンピュータ読み取り可能な形式						
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる						
,	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された						
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された						
3.							
4. 補足意見:							
·							

第四	脳 発明の単一性の欠如	
1.	追加手数料納付の求め(様式 P C T / I S A / 2 0 6)に対して、出願人は、	
	追加手数料を納付した。	
	追加手数料の納付はなかった。	
2.	■ 国際調査機関は、発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、追加手数料の納付を出願人に求めないことした。	<u>-</u> Ł
3.	国際調査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。	
	満足する。	
	× 以下の理由により満足しない。	
	請求の範囲1-7、12、27-32に係る発明の「特別な技術的特徴」は、「磁心の端部が筐体の金属部から遠ざかる方向に曲げられている」ことであり、請求の範囲8-11、13-26に係る発明の「特別な技術的特徴」は、「磁心より小さい比透磁率を有する部材を磁心に取り付けたこと」である。これらの発明は、一又は二以上の同一又は対応する特別な技術的特徴を含む技術的な関係にないから、単一の一般的発明概念を形成するように連関しているものとは認められない。	
	·	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	•	
4.	したがって、国際出願の次の部分について、この見解書を作成した。	
	× すべての部分	
{	請求の範囲 に関する音	邓分

	第V棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを返付る文献及び説明					
	1. 見解					
	新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	1-32	有 無		
	進歩性(IS)	甜求の範囲 ・	3, 4, 8-29 1, 2, 5-7, 30-32	有		
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-32	有 無		

2. 文献及び説明

文献1: JP 2002-341059 A (三菱マテリアル株式会社) 200 2.11.27,【0025】,第6図(ファミリーなし)

文献2: JP 55-082504 A (田中修) 1980.06.21,全文,第2、4、6図(ファミリーなし)

請求の範囲1、2、5-7、30-32に係る発明は、国際調査報告で提示した上記文献1、2により進歩性を有しない。

上記文献1には、タグ内蔵腕時計において、裏蓋を金属で形成するとともに、アンテナが形成される磁性基材を、端部が金属部から遠ざかる方向に、また、ケースを構成する環状枠の内面に沿って形成することによって、金属部に渦電流が生じることを防止したタグ内蔵腕時計が記載されている。

また、上記文献2には、アンテナが巻回される磁心を、適宜曲げて構成すること 及びC状とすることが記載されている。

従って、上記文献1に記載される磁性基材について、その形状を上記のようなものとするために、曲げて形成することは当業者にとって容易である。

そして、曲げられた磁心をさらに何らかの方向に曲げることは設計的事項にすぎず、断面形状を斜めとすることは例を挙げるまでもなく周知である。

さらに、アンテナをどのような搭載するかは当業者が所望により選択することであり、周知の電波時計やキーレスエントリーシステム用のアンテナとして文献1に記載の構成を適用することも、当業者が適宜なし得ることである。

請求の範囲3、4、8-29に係る発明は、国際調査報告で提示したいかなる文献にも記載も示唆もされておらず、また、これらの文献から当業者が容易に想到し得たものでもないため、新規性、進歩性を有する。